

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	滋賀大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	シガダイガク
	大学等名1(代表大学等)※学校コード	F125110107284
	大学等名1(代表大学等)学校本部所在地	滋賀県
	大学等名1(代表大学等)学校種別	国立大学
	科目名	プロジェクトC
	学部・研究科等名	経済学部
	担当教職員名・役職	田村 あずみ・特任講師
	受講者数実績年度	令和2年度
	受講者数※インターンシップ参加者数	1
	受入企業等数	1
	受入企業等名	iLEAP
	インターンシップの分類	3.海外インターンシップ
	上記以外のインターンシップの分類(記述欄)	
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容	
	1-3.上記回答内容に関する詳細	少人数の学生グループで、社会問題に取り組むシアトルの企業・NPOから依頼された調査や課題解決プロジェクトに取り組んだ。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	3.当該インターンシップは、専門教育科目として実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次	大学 学部1年
		大学 学部2年
		大学 学部3年
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数	大学 3単位
2-5.上記回答内容に関する詳細	経済学部においてプロジェクト科目とは、「学部専門共通科目」のなかの「実践・体験科目」区分として位置付けられている。この区分の科目は、専門科目として経済学部のすべての学科の学生が履修することができ、修得した単位は卒業要件に算入される。	
	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容	

要素③	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている
		3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容	
	3-2-3.該当するモニタリング	3.その他
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容	インターンシップ中に、学生が定期的に受入れ団体のスタッフと面談し、教員はスタッフと定期的に連絡を取り現状把握した。
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細	同プログラムに過去に参加した学生の報告を聞き、インターンの内容や目的を明確化した。また教員と受入れ団体スタッフが、現地の生活情報や危機管理指導を実施した。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細	オンラインの成果報告会を行い、帰国後に振り返りのレポートを作成してもらった。
3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細	プログラムの期間中、受入れ団体スタッフが参加学生と面談し、教員はスタッフと定期的に連絡を取って現状を把握した。	
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み	
	4-3.上記回答内容に関する詳細	事前に目標設定をさせ、事後にその達成度と自身の学びを振り返るレポートを作成してもらった。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	2.事前・事後学習との組み合わせにより、計5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合	
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合	17日間
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容	
	5-3.上記回答内容に関する詳細	リーダーシップや自己省察のセミナー2日、インターン実習11日、休日4日。なおインターン実習中にもセミナーを実施した。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容	
	6-3.上記回答内容に関する詳細	現地受入れ団体が、インターンシップ中の学生への面談などを行い評価を実施している。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	<a href="https://success.shiga-u.ac.jp/Portal/Public/Syllabus/searchMain.aspx">https://success.shiga-u.ac.jp/Portal/Public/Syllabus/searchMain.aspx</a>

問 い 合 わ せ 先	大学等名	滋賀大学
	担当部署名	学生支援課就職係
	担当者役職名	就職係長
	担当者氏名	山岸 雄
	電話番号	0749-27-1021
	メールアドレス	<a href="mailto:job@biwako.shiga-u.ac.jp">job@biwako.shiga-u.ac.jp</a>